

農業一筋！／＼共に32年

ひまわり E 議会だより

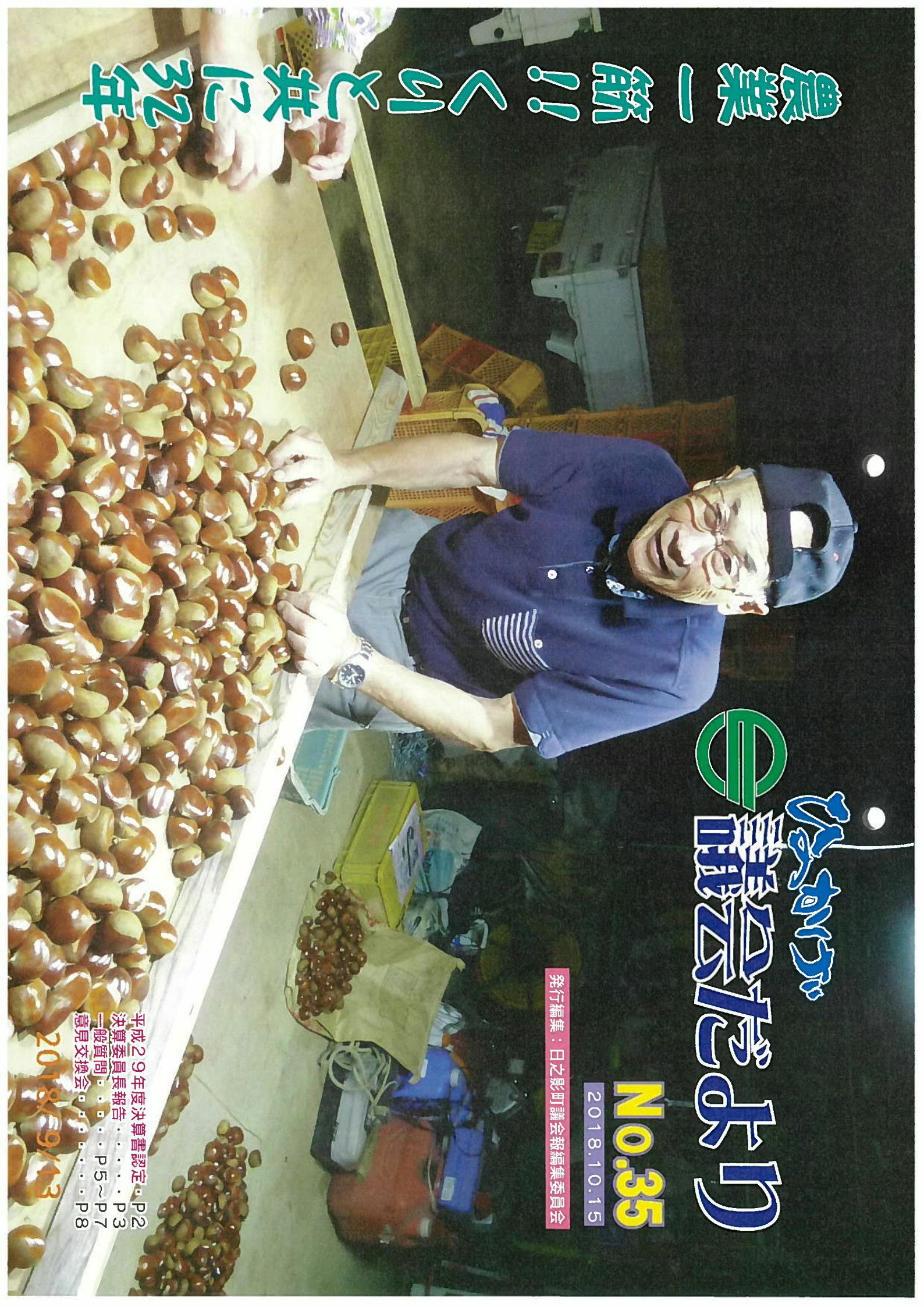
No.35

2018.10.15

発行編集：日之影町議会編集委員会

平成29年度決算書認定 P2
決算委員長報告 P3
一般質問 P5～P7
意見交換会 P8

2018/9/13



9月定例議会

平成30年度第3回定例会は、8月30日に開会し、報告2件・認定8件・議案8件は、原案のとおり可決しました。一般質問は、5名が登壇し、町長・教育長に質問、9月14日に閉会しました。

平成29年度
一般会計
決算

「実績・財政運営は、概ね評価できる！」

(歳入合計) (歳出合計) (差引額)
49億917万円 - 47億2683万円 = 1億8234万円

差引額の内訳

◆公共事業等の繰越分	1億4188万円
◆基金繰入金	2100万円
◆翌年度繰越金	1946万円

■病院会計・特別会計決算概要

会計名	歳入合計額	歳出合計額	差引額
病院会計	6億2283万円	6億1243万円	1040万円
国民健康保険	7億7343万円	7億4734万円	2609万円
簡易水道	7978万円	7783万円	195万円
奨学資金	1215万円	1215万円	0万円
農業集落排水	1376万円	1346万円	30万円
介護保険	6億7487万円	6億7006万円	481万円
後期高齢者医療	5756万円	5753万円	3万円

■監査意見書（抜粋）

①一般会計並びに特別会計について

平成29年度一般会計決算は、歳入・歳出共に減となったものの、実質収支額は8.7%の増、単年度収支は3247千円の黒字となり、良好な財政運営であると認めるものである。更に体力をつけながら今後の事業推進に努めていただきたい。農業法人「ひのかげアグリファーム」については、受委託事業も増加の傾向にあるが、今後は会社の体制強化と事業の精査等により、農業振興に尽力していただきたい。

【指摘事項】

- ・土地借地料については、全体的に改善されているが、更に検討されたい
- ・委託料等の契約について、予算編成の見積依頼時など随時内容を精査のこと
- ・税・使用料の滞納について、徴収に計画性を持って、徴収率の向上に努めること
- ・「道の駅」・庁舎建設とハード事業が続くが、この機会に接遇などのソフト面を見直し、備品等の整理を行なうこと

②病院事業について

平成29年度決算は、入院患者数は増となったが収益については、外来共に減となり昨年に増して厳しい財政状況となった

【指摘事項】

- ・病院経営状況等の情報の共有化・西臼杵三町での広域化の推進
- ・過年度未収金の整理と返済計画の推進・へき地診療並びに訪問診療等の現況調査

平成29年度決算審査特別委員会

■委員長報告

本委員会に付託されました、認定第1号「平成29年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、認定第8号「平成29年度日之影町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの8議案は、決算審査特別委員会を9月5日と7日の2日間の日程で開催し、所管課ごとの審査を実施しました。

平成29年度の施策執行は、限られた予算の中、町民の福祉の向上を目的に執行され、決算審査特別委員会において、第5次日之影町長期総合整備計画や、辺地に係る公共施設の総合計画などに基づき、詳細に渡り審査した結果、各課が所管する事業の実績は、概ね評価でき、行財政全般については、将来を見据えた基金を積み立て、他の町村以上に各種制度事業を積極的に導入されており、健全な行財政運営は大いに評価するものである。

中山間を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化・担い手不足など、依然厳しい状況にあるが、施策の効率を含めた行財政改革に限界はない。課題解決へ向けて町民・議会・行政が一体となった取り組みが肝要である。

この観点から、次の5点について、意見を申し上げます。

①運転免許返納者に対する、すまいるバスやタクシー乗車券の支給については、国道

から離れた、遠隔地居住者への配慮が必要ではないか

②地方創生の期待の大きい「CIPromo」シヨン事業「地域力創造アドバイザー」「婚活事業」については、他団体と横並びではない本町独自の方策を望む

③地域包括支援センターにおいては、年間の相談件数が4800件を超えており、少ない職員で負担が大きいと推察をするが、プライバシー等を考えたとき相談室が手狭であり、人員と相談スペースの確保が急務である

④農業法人「アグリファーム」においては、限られた職員により、受注が増加する水稲の育苗や、耕作放棄地を利用した白ウコン等の栽培を行い、経営努力されているが、今後の課題として、担い手の育成と、農林家の多様なニーズに応える為、更なる工夫と努力が必要である

⑤日之影町立病院は、町民にとってより親しみやすい病院になるため、広く町民の意見を聴取する方法を実施する、更なる工夫が必要ではないか

以上、平成29年度決算特別委員会で審査しました、認定第1号「平成29年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、認定第8号「平成29年度日之影町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの8議案は、本会議で可決するべきものと決定しましたので、ご報告します。

総括質疑

■経済建設常任委員会

問 農業の振興について

農業の六次産業化を推進し、新たに雇用の場を確保する仕事の創出においての、成果と課題を伺う。

町長 平成21年度より実施している「ふるさと起業応援事業」は、今日まで33件、29年度は4件の実績で、産品については高品質の評価を得ているが、規模の小さい農家では雇用の場はない。JA・生産者との協議も必要なので、引き続き雇用の場の確保に努めて行く。

問 畜産の振興について。

畜産・堆肥舎等の条件整備、素牛導入への支援事業と生産率向上対策による経営の安定化の推進について、成果と課題を問う。

町長 現在、繁殖農家157戸で806頭の牛が飼育され、販売高4億円を超える産業として本町の地域経済を支えている。これまでに、飼料用作物の作付けや放牧への支援、ICTの導入を推進してきた。課題は、後継者不足、高齢化等により、畜舎・機械等の更新が難しくなっている。

問 森林セラピー事業について

世界農業遺産・ユネスコエコパークとの連携によるセラピー事業の成果と、町民参加型の体制づくりを問う。

町長 基盤整備のハード事業として、登山道、アクセス道の整備、ソフト事業は、案内人の育成やマニュアル作成等PR活動に努めてきた。また、棚田まつりウォーキングや用水路の見学も検討し、町民の方にも関心を持ってもらえるよう企画していく。

問 企業誘致及び職場の確保について

雇用創出に向けた企業誘致の実績と課題について問う。

町長 大変厳しい現状である。29年度実績は、4社に向き見学に来てもらったが、結果として出来なかつた。企業の工場地には広大な土地が必要で能力等の問題もある。これからも県と連携して継続して取り組んでいく。

問 林業の振興について

低コスト化による森林所有者の所得向上の実態と未利用材の供給体制の取り組みについて問う。

町長 森林整備事業に加え、町単独で作業道整備の補助を行なっている。

木材価格の上昇や未利用材の販売により、業者の所得は上がっているが、所有者の所得は、思ったよりも上がっていないのが現状である。バイオマス発電へ出荷される未利用材の供給体制整備にも取り組んでいく。

総務文教常任委員会

問 財政状況の、総括と分析について

財政運営について、実質収支は9%の伸びで単年度収支も黒字であり、良好な財政運営である。住民税等の伸びは喜ぶべきことではあるが、農林業を取り巻く環境は流動的な面もある。決算に於ける財政状況の、総括と分析について問う。

町長 一般会計においては、歳入・歳出ともに減となったが基金は、1億2800万円を積み立てる事ができた。しかし、依存財源の占める率が78%であり、厳しい財政状況である。今後も新たな制度事業等の情報収集に努め、健全な財政運営を推進していく。

問 町民の健康づくりの推進について

人生100年時代の到来が近いと言われる今日、健康寿命をいかに延ばしていくかは大きな課題であり、その中でも高血圧・糖尿病の生活習慣病の改善は、重要なテーマと考える。生活習慣病の現状と推移について問う。

町長 本町の、国保の医療費は依然高い状況にあり、生活習慣病である高血圧・糖尿病やメタボ等の発症も多い。食生活の改善と運動等を含めた保健指導等、継続的な把握をすることが重要と思う。各種検診の受診についても啓発活動を推進していく。

問 出産・子育てについて

出生数の増減に伴い、0才児の待機児童の事例がある。経営者側の事情が一因とも考えられるが見解を問う。

町長 保育については、保育児の年齢と人数ごとに保育士の配置に制限があると聞いている。0才児は、3名に1人必要であることや、定員に対する充足率がオーバーしている現状が要因と思われる。今後も推移を注視していく。

問 消防・防災対策の充実について

近年、地球温暖化等に伴い、自然災害は年々被害が拡大する中、団員が減少する消防団の負担も大きくな

っている。消防力の強化を図るための実績について問う。

町長 現在、消防団員数は定数270名に対し現在員243名で、充足率は90%であり年々減少し、平均年齢も38・9歳となり20年以上の団員が約7割を占めている。今日まで、近隣市町村団員との連携や最近、九電との覚え書きを結んだところであるが、今後も安全な環境づくりに努めていく。

問 教育の充実に伴う食育の推進について

「地産地消給食の日」の実績と生徒の反応を問う。

教育長 「地産地消給食の日」は、毎月1回行なっている。食材の生産者名を公表することで、通常の給食よりおいしいと残すことなく好評である。この日以外でも、町内の農産物を使っており、児童・生徒の地元食材への感謝の気持ちが高まっている。



新庁舎建設に伴う事業はじまる!

補正総額 2億9725万円
補正後の総額 50億2784万円

歳出の主なもの

◆総務費 (新庁舎建設に伴い町民センター内の放送センター移動事業費等)	9444万円
◆農林水産業費 (水道施設整備事業(椎谷地区)・蓋掛け工事費及び林道維持事業等)	9319万円
◆商工費 (観光交流拠点強化事業補助金等)	661万円
◆消防費 (防災情報システム基本設計委託業務等)	536万円
◆教育費 (小学校の修繕等)	442万円
◆災害復旧費 (台風7号に伴う農地及び町道の災害復旧費等)	8745万円

一般質問

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

新庁舎(複合施設)建設に伴う木材利用は

町長 現時点では木材の使用量は把握出来る段階にない。



飯干 静香
議員

問 道の駅の木材量を伺う。

町長 木造二階建ての構造となる。全体では約182立方の木材を使用する。

問 町産材と町有林の木材利用は。

町長 町有林のうち人工林は25団地の約288ha、主に杉を多く有している。京の元町有林の木材利用を視野に入れ、利活用できるように取り組む。

問 環境問題 給食用ストロークの処理は。

町長 各学校で燃えるゴミとして処理している。

問 各家庭から出る資源ゴミ特別の収入源となり、再利用出来る。分別の指導は。

町長 周知徹底と啓発活動を更に努めていく。

問 児童の「ランドセルが重い」身体に影響は。

教育長 今回のところ問題は無いが、見守っていく。

問 身体状況・検査の把握は。

教育長 各学校で状況把握はできている。

問 ランドセルの中味・手荷持の減量は。

教育長 学校に置いて良い物は置いて帰るなどの、対策を取っている。



《給食中の様子》

どうなった過去の一般質問？



河野 學 議員

問 木材の中間土場造成について伺う。

町長 県森連や森林組合と設置場所、事業費負担等について協議を進めてきたが、面積・造成費の面で本町のみでの設置は厳しいと判断した。

問 戸川岳町有林の今後の運用はどうするのか。又、そこに向かう林道について伺う。

町長 平成29年度に切り捨て間伐を実施した。今後も必要に応じてやっていく。又、戸川岳は観光資源としても重要であり、将来的には林道の開設を検討したい。

問 病院の問題、課題について三人の先生方と話し合いをされたかについて伺う。

町長 副町長と三人の医師に対して改善して欲しい点など

を話し合い、医師を含む全職員に対して訓示を行った。

問 八戸ブロック工場の跡地住宅の建設は検討されたか伺う。

町長 民間住宅については相談を受けている所もあるが、今すぐということではない。ここは大変有効な土地であり、土地の取得は可能なか財源も含めて今後検討していきたい。

問 八戸小学校の閉校後の有効利用について伺う。

教育長 地区住民、公民館長、行政が一体となり、今後検討していく。



《八戸ブロック工場の跡地》

教育長の描く教育方針は？

教育長

教育で「ひのかげ」を元気にする



一水 輝明 議員

問 少子高齢化が中山間地域の活性化に及ぼす影響は、大きい。この現状と課題を分析し対応されるのか、新教育長の描く教育方針について伺う。

教育長 学校教育については、「学力と言えば日之影」と言われるよう学校と家庭が連携し、個性や学力・希望に応じた指導に加え、勉強だけでなく自分で考え行動させ、責任をもてるたくましい「日之影好きな子供」を育てたいと思っている。「教育は国家百年の大計」と言われるように、すぐに結果が出るものではない。将来の日之影を担っていく子供達を町民みんなですっかり育てて行ける様、教育長として私にできることは「教育で町を元気にすること」と思っている。

問 学校教育の学力、体力の向上は？

町長 学力・体力については、環境も好ましい状況で先生方の熱心な指導もあり、優れた結果を収めているが、活用力の定着や運動経験の差が見られ、課題もある。

対応策としては、教職員研修会の実施、「体力向上プラン」の作成・実施、スポーツ少年団や部活動の充実等、具体的な指導や支援を行っていく。

問 社会教育の公民館活性化・文化財の継承は？

教育長 日之影町の自治公民館は現在、40公民館で構成され、各地域の特色を生かしながら文化財の継承をはじめ、活動の拠点として大きな役割を担っており、人数は少なくてもどこも重要な公民館である。少子高齢化による後継者不足等の問題もあるが、人と人とのつながりを大事にしていきたいと考えている。また、文化財の保存・継承についても、積極的に取り組んでいく。

庁舎跡地利活用は？

町長 地元住民等の意見を聞き検討していく



甲斐 陸彦
議員

問 第二回定例会において、新庁舎が宮水地区に移転が決定された。地元住民はもとより町民の間にも日之影らしい愛着を感じた中央地区の今後のありかたと庁舎跡地利活用に関心が寄せられている。町長の考えを伺う。

町長 今回の補正に予算を計上しているが(仮称)「中央地区活性化協議会」を設置し、地元の皆様の意見をお聞きし、地域資源を活かし、観光を切り口に各団体との連携を図り取り組みたいと考えている。

問 ペーパーレス化議会は事務の効率化により労力の軽減につながるが同時にリアルタイムに資料の確認ができる利便

性がある。行政改革の一環として取り組む考えはないか見解を伺う。

町長 平成25年度に自治体クラウドシステムを導入など事務の効率化を図った。それでも紙が大半である。定例会におけるペーパーレス化については、職員、議会を含めその能力の向上が必要であり、現時点での導入は困難であるが、今後研究していきたい。

問 本町出身の新教育長に町民の期待は大きいと感じる。勉学はもとより、現在の小中学生は超高齢化社会環境に突入していかなければならない。就任から半年、見えてきた課題と考えを伺う。

教育長 日之影の子供たちはまだまだ伸びる。学校関連予算も多く配当していただいている中で、勉強はもちろん、自ら考えるたくましい心を育成する教育を目指したい。

町長 影響については多国籍企業の参入により、遺伝子組み換えによる安全性の問題、種子の価格が5倍から10倍になるという情報もあり、水稲経営規模の小さい経営の本町稲栽培は厳しくなるのではと心配している。対策については今後とも県との情報の共有化を図り、必要な予算の確保等について町村会による国への要望活動等を行っていきたい。

種子法廃止の対策は？

町長 県との共有化を図り対応していく



甲斐 健司
議員

問 主要農産物種子法の廃止に伴う、本町農業への影響についてどう捉えているか、又対策はどう考えているかについて伺う。

問 新学習指導要領の、本町教育における対応について伺う。

教育長 昨年度から町校長会等とも協議して、平成32年度からの全面実施に向けて計画的に準備を進めている。小学校外国語の授業をより充実する為、ALTを活用した先生方の外国語研修を実施し、教職員の外国語指導に係る資質向上を推進したい。また本町の特色を生かした学校教育を推進していきたいと思っている。



《教育の日での英語の授業》

意見交換会

0才児の待機児童の対策を!!



《大楠・小崎・中尾地区》

を行ないました。主な内容は、

町内の舗装率と今後の計画、小崎～中尾間の道路改良、大楠用水路の蓋賭け事業の急務等のインフラ整備について、新庁舎の建設及び職員駐車場の確保とデータ放送の内容の充実について、待機児童の対策や放任樹園地の指導、農道の整備促進についての意見がありました。貴重な御提言有難うございました。

■大楠・小崎・中尾地区

【期 日】平成30年6月29日

【場 所】中央研修館

田植えも終わり、一息ついた時期に開催し、8名の参加を頂きました。円形に机を配置してより身近に感じながら意見交換

■西臼杵支庁・高千穂保健所

【期 日】平成30年7月9日

【場 所】福祉館

この意見交換会は、毎年一回開催しており、支庁長・保健所所長・各課長の出席の中、福祉館にて行ないました。はじめに、西臼杵管内の主要事業の概要、予算執行・事業計画についての

説明を受け、質疑・応答の形式で提言・要望を致しました。

(主な内容)

- ◎西臼杵衛生センターの老朽化・安全対策
- ◎国道道の管理(草刈等)と予防規制の基準
- ◎地域医療構想について
- ◎有害鳥獣対策と自伐林家の育成について
- ◎ひなたGAPの概要とベビーハンスの実績について

■大人・古園地区

【期 日】平成30年8月24日

【場 所】大人歌舞伎の館

台風襲来後の中ではありましたが、37名の皆様に出席を頂きました。主な内容は、議員報酬アップの経緯について、町立病院の赤字対策と税について、宮崎部品工場跡地の利用と過疎化・少子化対策について、庁舎移転

の経緯と町民アンケート、議会庁舎建設検討委員会の対応と、議会活動の見える化・なり手不足等、手厳しい御意見、助言を頂き、時間が足りないくらいに熱い意見交換会となりました。貴重な御提言有難うございました。



《大人・古園地区》

柔軟な見直しで福祉の充実を！

■総務文教常任委員会所管事務調査報告書

【調査事項】

町内の通所介護事業所について

【期 日】

平成30年7月27日(金)

介護保険制度の改定(H30・4・1)により、通所介護の報酬単位が低くなった。

サービス提供時間が2時間区切りから1時間区切りになり、現在の提供時間では単位が下がるが、提供時間を延ばすとその分人件費の問題が生じる為、しばらくは現状維持で実施していく。

訪問介護の場合は総合事業が開始され、対象者が要支援から軽度支援へ移行した。介護予防の単位に比べ軽度支援の単位は低く、支援を行うヘルパー賃金は変わらず、遠方への訪問介護については交通費も支払っていることから、介護予防に比べ実績額は減っている。単価の見直しが必要と思われる。

介護支援員も高齢になっていく為、関係課と情報収集に努め、人員確保を行っていくことが課題である。



《デイサービスの様子》

自然と空気と水の豊かな見立へ

■経済建設常任委員会所管事務調査報告

【期 日】

平成30年8月6日

①煤市梅の木峠ボルダリングエリア

煤市集落から車で上る事2・3km、雄大な景色と景観のなかに巨大な礫岩石が点在するボルダリングエリアがある。周りは日之影を代表する山々を一望でき、まさに天空のパノラマを味わえる観光地としても期待できる。課題は、道路整備と、観光誘致に繋がる環境整備が必要である。

②リフレッシュ出羽とケビン村の現況

リフレッシュ出羽は、平成3年頃にオープンその後ケビン村も5棟が建設され、木造の室内に入ると癒しの空間がそこにあり、川のせせらぎと鳥のさえずりも聞こえるすばらしい宿泊地である。課題としては、老朽化した施設の整備、シーズン中の人材確保が急務である。

③ラサ工業(株)見立事業所について

340年の歴史がある大吹・見立鉱山は、鉱山発祥の地と言われている。全盛期は、従業員450名を数えたが昭和44年に閉山となる。現在は、ラサ工業が引き継ぎ、ヒ素を取り除く作業所として、4名で運営されている。今後の動向を注視したい。



《見立ケビン村》

■議会傍聴のご案内

次回の定例会は12月です。皆様の傍聴をお待ちしております。10月の町議選後はじめての議会となります。議会に対するご意見等は、議会事務局へお願いします。

◎問い合わせ 議会事務局 TEL 87-3908



《実るほど頭を垂れる稲穂かな》



《八戸本通り 敬老の日》



《日之影中学校運動会 団長お疲れ様！》



《夏の香残る見立溪谷の清流》

表紙紹介

今回は、興地集落の戸高晟氏（78歳）を紹介します。ちょうど栗の収穫をされていて忙しい中お話を伺いました。

問 農業経営についてお伺いします？

晟さん 今は、水稻22アール、栗280アールと椎茸栽培をしています。

問 農業の楽しさ、良いと思うところは何ですか？

晟さん 一番の喜びは、栽培した作物の収穫時です。

問 農業をする中で、困ったこと問題点はありますか？

晟さん 収穫最盛期での人手不足に困っています。

問 アグリファームについてお伺いします？

晟さん 高齢者時代の流れの中に、山間部は人材不足となり働く人がいない中、アグリファームの人材募集で5名の方にきてもらい、非常に助かった。今後も取り組んでみたい。期待しています。

問 最後に、晟さんの一番の楽しみは何ですか？

晟さん 一日の仕事を終え、風呂あがりの一杯のだれやめです。

(いつまでもお元気で、栗の栽培頑張ってください。ご協力有難うございました。)



編集後記

収穫の秋を迎え、町民の皆様におかれましては、多忙な日々をお過ごしのことと思います。

さて、4年間を振り返りますと、農業法人アグリファームの設立、道の駅青雲橋のリニューアル、新庁舎建設へ向けての審議等、本町にとって歴史に残る時期を経験させて頂き、責任を感じる次第であります。町民の皆様には「議会だより」や22回の集落や各種団体との意見交換会を通じて、議会活動をご理解賜ったと思っております。

この議会報を読まれる頃には新たな議員による議会が発足しており、これからもご支援をお願い申し上げます。この4年間のご協力に感謝申し上げます。

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 一水輝明
副委員長 甲斐睦彦
委員 佐保満男
委員 河野 學